

金のいぶき(業務用米):宮城県

ポイント

- 低アミロースで胚芽が大きく玄米中のGABA含量が高い新品種「金のいぶき」を導入する。
- 「金のいぶき」は、消費者の健康志向の高まりにより根強い需要がある「発芽玄米」に最適な品種であり、また、米の消費が減少する中で「無菌包装米飯」(パックご飯)は需要が伸長していることから、「金のいぶき」の発芽玄米パックご飯の製品化に取り組むとともに、産地ブランド化に向けた実需者とのマッチング活動を実施する。



品種・系統名	胚芽		GABA 含量 (mg/100g)
	胚芽長 (mg)	胚芽重 (g/500個)	
金のいぶき	2.97	0.87	7.0
ひとめぼれ	2.23	0.30	2.0

「ひとめぼれ」と比較して、胚芽長は1.3倍、胚芽重は2.9倍、玄米中のGABA含量は3.5倍。

資料:宮城県古川農業試験場作成(2011年)



商品開発イメージ

コンソーシアム構成員

名称:金のいぶき商品開発 コンソーシアム

県 宮城県古川農業試験場
宮城県北部地方振興事務所
生産者 (有)平柳カントリー農産
JA加美よつば
実需者 (株)JA加美よつばラドファ

事業実施概要

取組前の産地の課題

- 全国的な豊作と米消費減少により持ち越し在庫が増加しており、米の販売環境は大変厳しく、実需のニーズに沿った「売れる米づくり」が課題となっている。

○販売額(25年度) 2.6億円
・原料米生産量 239トン、単価297円/kg
・パックご飯出荷量 480トン、単価401円/kg



取組計画

- 生産対策
新品種「金のいぶき」の実証ほ設置による栽培適応性の確認、栽培マニュアルの作成を行い、普及拡大と作付誘導を図る。
また、「金のいぶき」発芽玄米パックご飯の製品化(無菌包装米飯加工)に取り組む。
- 販売対策
「金のいぶき」発芽玄米パックご飯の試作品の作成・配布によるPR活動、市場調査、求評会の開催等のマッチング活動を行うとともに、パックご飯の包装デザインの検討等に取り組む。

○販売額(28年度目標) 2.9億円(1.1倍)
・原料米生産量 280トン、単価276円/kg
・パックご飯出荷量 571トン、単価374円/kg